

## 花コミュニケーションとかち

### 取り組みの概要

花のある街並みづくりと花を通じたコミュニティの広がりを目的として、出展者が製作したハンギングバスケットやコンテナなどの花の寄せ植え作品をとかちプラザ南公園に1週間程度展示する「花コミュニケーションとかち」をはじめ、花の講習会やトークショー(講演会)などの事業を、帯広市・企業・市民が一体となって進めています。

これまでに地元の花愛好家から延べ2000点を超える作品が出品されており、来場者などへ癒しの空間を提供しています。また、園芸を学ぶ十勝管内の高等学校や地元の団体などとコミュニケーションの輪を広げながら、ともにガーデニングの普及活動を実施しています。

### 協働の きっかけ

平成11年、12年に企業主催で開催されたハンギングバスケットコンクールの参加者を中心に、自分達で新しい「花のコンクール」を実施しようという気運が盛り上がり、平成13年に「ふるさと花コンクール事業」を開催したことが始まりです。平成18年からは、新たな出品者を開拓するため、従来のコンクール形式を見直し、お互いの作品を「見せ合う」場に変え、名称も「ふるさと花コンクール」から「花コミュニケーションとかち」に変更し、多くの参加者の下に実施されています。

みどりの課  
十勝毎日新聞社



花コミュニケーションとかち実行委員会  
市民  
協賛・協力企業

- ・情報収集・発信力
- ・それぞれの組織ならではのノウハウ

強み

- ・行動力がある
- ・知識や経験が豊富
- ・協賛企業による支援

- ・金銭的な支援（負担金の支出）
- ・事務局として実行委員会をサポート
- ・イベントの情報発信

役割

- ・イベントの企画・運営

### 協働の 成果

毎年100点以上の花の寄せ植え作品の出展があり、ハンギングバスケットをはじめとしたガーデニングの普及・拡大や愛好者層の定着に、大きく貢献しています。

### 協働のポイント

- 市民主体で企画・運営を担い、行政や企業がフォローする

